

下森議員（自民議連）

平成 27 年 9 月 28 日  
教育長答弁実録  
（教育委員会）

（問）新たな中高一貫教育校の設置について

県教育委員会では、県立の併設型中高一貫教育校について、これまでの県議会において、「広島中・高等学校の成果を検証した上で、新たな中高一貫教育校の在り方を検討したい。」と答弁しており、昨年 12 月に策定された「広島版『学びの変革』アクション・プラン」においても、「これまでの取組の成果を踏まえ拡充するもの」として位置付け、地域の学びの拠点として、県内全体の教育水準の向上につなげることとしている。

広島中・高等学校の成果は、十分に上がっており、早期に新たな学校の設置を進めてもらいたいと考えるが、併設型の新たな中高一貫教育校について、どのようなスケジュールで検討しているのか、また、新たに設置すべき地域及び学校数について、どのように考えているのか、併せて教育長の所見を伺う。

（答）

「今後の県立高等学校の在り方に係る基本計画」におきまして、県内に広島中学校・高等学校の成果を広めるため、既存の高等学校に県立中学校を新設することを前提として、新たな併設型中高一貫教育校の設置について検討することとしているところでございます。

また、「広島版『学びの変革』アクション・プラン」におきましても、この基本計画を受け、県内各地域のコンピテンシー育成教育推進の拠点として、実践的な課題発見・解決学習を先進的に行う併設型中高一貫教育校を、複数設置することを検討することとしております。

こうしたことを踏まえ、中高一貫教育校が地域の学びの拠点となるよう、既存の学校に与える影響等も考慮しながら、全県的な視野に立って、地域バランスや学校数等について、詳細・個別に検討を進めているところでございます。

教育委員会といたしましては、新たな併設型中高一貫教育校の設置に向けた具体的な構想をできる限り早期にとりまとめたいと考えております。